第 52 回（H23 年度第 10 回）MT 委員会議事録

日時: 2012 年 2 月 16 日 13:30–15:00

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井[a]（委員長）、阿部[a]、延與[a,†]、福西[a]、羽場[a,†]、加瀬[a]、久保[a]、久保野[b]、森田[a]、本林[a,†]、西村[a,†]、櫻井[a]、下浦[b]、Steppenbeck[a,†], 須田[c,†]、武内[a,†], 上野[a]、上坂[a]、上蓑[a]、若杉[a]、山口[b,†]

欠席: 上垣外[a]、吉田[a,†]

[a] RNC / [b] CNS / [c] RIBF-UEC / [†] Observer

（順不同・敬称略。以下同様）

【報告】

1. MT 変更（上野）

SAMURAI-MS 前に施設検査を行い、且つ二次ビーム輸送経路を ZD (F11) – SAMURAI (F13) 間で切り替える為の STQ18 移動を効率よく実施するため、3 月の ^{18}O ビームシリーズの BigRIPS 関連実験のスケジュールを変更した。なお、STQ 移動日数は、初回である今回は 1.5 日を予定しているが、今後は 0.5 日で実施できるようになる見込み。変更の詳細は下記の通り。

Experimental-Program-Number	Previous		Changed
MS11-16 (Nishimura/Doornenbal)	Mar/16/09:00 – Mar/18/ 9:00	→	Mar/29/12:00 – Mar/31/ 9:00
Official Inspection11-03 (Uwamino)	Mar/19/09:00 – Mar/19/12:00	→	Mar/16/09:00 – Mar/16/13:00
MS11-10 (Yoneda)	Mar/19/12:00 – Mar/26/ 9:00	→	Mar/16/13:00 – Mar/23/ 9:00
This ^{18}O series is continued to:			
MS11-11 (Michimasa)			Mar/31/21:00 – Apr/ 1/21:00
NP1012-SHARAQ06-01 (Shimoura)			Apr/ 1/21:00 – Apr/15/21:00
MS11-17 (Nishimura/Doornenbal)			Apr/16/ 9:00 – Apr/18/ 9:00
MS-EXP12-01 (Itahashi)			Apr/18/ 9:00 – Apr/19/17:00

2. RIBF 加速器運転（福西）

NP0912-RIBF34-02 (Sekiguchi) 実験への偏極重陽子ビーム供給に於ける加速器状態に関する状況報告があった。層間短絡による RRC 運転への影響が悪化している可能性があるが、今後のビーム供給可否を判断するにはまだデータが不充分であり、引き続き RRC が最も安定する現在の高磁場モードでビーム調整を行う。但し、もしこのモードでビーム供給できない場合には緊急修理が必要で、春–夏の MT は実施できない。

3. 継続審議となっていた SAMURAI-MS 申請について（酒井）

前回委員会で、「判断を保留し MS 計画申請書を再々提出、最終判断は委員長に一任」とされた "SAMURAI Commissioning", MS11-10 (Yoneda)

について、計画申請書が MT 委員会委員長宛てに再提出された。MT 委員会委員長が申請代表者団からのヒアリングを行い、6.5 日の MS 配分を認めることとした。

4. CRIB の運用方針について（下浦・山口）

現在 NP-PAC での募集を凍結している CRIB について、今後二年間程度の運用方針（案）が提示された。

これに関連し次期実施予定の実験の説明があった。新方針の下実施される実験課題は RNC 事業の MT と同様の扱いとなる予定。

5. PAC 進捗状況（上野）

- 11th NP-PAC (6/18-19)：新 NP-PAC 委員の委嘱について現在 RNC と CNS で協議し、候補者 2 名を選定した。他、Call-for-Proposals は 3 月中旬頃配信予定。
- 9th ML-PAC & 3rd In-PAC: 調整中。

【議題】

1. 前回議事録承認（酒井）

2. FY2012 上期 MS&DD 申請（酒井）

Machine Study 枠及び Detector Development（AVF 単独利用のみ）枠で次期実施希望のあった下記課題についてヒアリングを行った。審議の結果、これらの課題を承認することにした。但し、MT の配分はこの採否とは別に下記議題 4 にて検討された。

Exp-Prog-Num	Spokesperson	Subject	Acc. / Beamline	Beam	days
MS-ACC12-01	Okuno	Gas-stripper development	RRC	^{238}U	3
MS-ACC12-02	Okuno	Gas-stripper development	RRC	^{238}U	4
MS-ACC12-03	Okuno	Gas-stripper development	fRC	^{124}Xe	4
MS-ACC12-04	Okuno	Gas-stripper development	fRC	^{238}U	4
MS-ACC12-05	Fukunishi	Beam development	SRC	^{70}Zn	5
MS-ACC12-06	Nakagawa	Beam development	RILAC ion source	^{50}Ti	7
MS-EXP12-01	Itahashi	BigRIPS beam transport	BigRIPS	^{18}O	1.3
MS-EXP12-02	Michimasa	SHARAQ commissioning	SHARAQ	^{48}Ca	1
MS-EXP12-03	A. Yoshida	Secondary-beam development for industrial use	CRIB	^{7}Li	2
MS-EXP12-04	Yamaguchi	Beam development	AVF	^{6}Li	1
DD12-01	Ishibashi	Development of a β-NMR/AFR system	AVF-E7B	pol. *d*	2

3. FY2012 上期の ^{70}Zn ビーム配分について（酒井）

今回、RIBF-SRC 実験については ^{48}Ca と ^{124}Xe の MT 配分募集を行ったが、募集後、櫻井主任より ^{70}Zn ビーム配分の要望書がセンター長宛に提出された。この内容について櫻井主任より説明があった後、実験代表者である Steppenbeck 研究員からヒアリングを行った。検討の結果、配分を承認するとセンター長へ答申し、センター長もこれを了承した。

4. FY2012 上期 MT スケジュール（酒井）

- MT 委員会準備会を 2/7 に開催し、またその後メールを通じ、MT 計画案を検討した（参加者：酒井 MT 委員会委員長、羽場・上垣外・久保・櫻井・下浦・上野・上坂・上蓑・山口の各 MT 委員会委員、及び奥野副部長、池沢 TL、坂本 TL、今尾研究員（以上加速器基盤研究部）、稲辺先任（BigRIPS Team））。（上野）
- 上記審議事項 2.及び 3.の決定を反映するよう MT 委員会準備会案を修正した後、次年度上期の MT スケジュールを承認した。このあと MT 委員会承認案を実験代表者に提示し、必要に応じて微修正を施した後 MT スケジュールを確定する。

5.　次回 MT 委員会の日程

- 次回は 3/16（金）13:30– で調整。
- 次年度 4 月以降も原則として第 3 金曜 13:30– で調整。

（以上）